

第54回（令和3年3月）排砂評価委員会評価

令和3年度連携排砂計画（案）及び連携排砂に伴う環境調査計画（案）については、以下の意見を付して了承する。

- ① 連携排砂計画（案）については、より自然に近い土砂動態に向けての宇奈月ダム先行操作の試験的な実施を継続し、引き続き効果の検証を行い、次回の排砂評価委員会で報告すること。なお、実施にあたっては、出し平ダムの堆積土砂の軽減に留意した運用を行うこと。
- ② 環境調査計画（案）については、土砂動態の予測・評価手法の向上や連携排砂に伴う環境影響の把握の観点から、各専門の委員の意見を踏まえ環境調査の適切な実施に努めること。
- ③ 今後も引き続き、関係機関、団体等の要望も踏まえた環境調査の実施や、河川・海岸・流域における環境保全等の取組を進めること。

◇深海底質調査の実施結果について

第53回排砂評価委員会において、今後の留意点としていた深海底質調査結果の報告を受け、以下の意見を付す。

深海底質調査について、年代推定や人工衛星画像の分析等から、

- 1) 深海底質は少なくとも半世紀以上過去の年代から平均約4 mm/年と一定の速度で堆積していること
- 2) 調査対象とした海域における土砂堆積に対する黒部川の寄与率は約2割と推定され、富山湾東部の河川群全体の流域面積に占める黒部川の割合と同程度であること

が示唆された。このことから、今回の調査結果を見る限り、連携排砂開始前後における環境への影響は見られず、学術的に見て同一調査の継続の必要性はないものと考えられる。

以 上